

2021年4月

## 今月のテーマ

- I 男女格差 **日本は世界120位**  
**G7で最下位!!**
- II 渋沢栄一に学ぶ！  
時代の大転換期を  
どう乗り越えたか？
- III 扶養の義務とは？夫婦間では？  
生活困難の親族との関係は？

想いをのせて **感謝** ありがとう

Tokyo2020の聖火リレーが2021年3月25日から始まりました。聖火ランナー約1万人のそれぞれの想いをのせて121日間かけて開会式が行われるオリンピックスタジアムへと聖火をつないでいきます。福島県Jヴィレッジからスタートし、東日本大震災から10年となる節目の年に行なわれる聖火リレーとして復興の歩みを進める被災地をはじめとする全国各地を隅々まで巡り、日本全国の人々に希望と勇気を与えていきます。そして、コンセプトである「希望の道をつなごう」に沿って「くじけぬ力」や「一つになって取り組む力」の象徴となる東京2020大会の開催に向けて、「新型コロナウイルス感染症を乗り越えた」その先にある**人類の希望を全世界の人々に示していきます。**

## I 男女格差 日本は世界120位 G7で最下位

### 「経済」「政治参加」の遅れ

ダボス会議で知られる世界経済フォーラム(WEF)は3月31日、**男女平等がどれだけ実現できているかの数値化である「ジェンダーギャップ指数」を発表した。その結果、調査した156カ国のうち日本は120位だった。**

調査は「経済」「教育」「医療へのアクセス」「政治参加」の4つをそれぞれ分析したもの。

日本は「教育」「医療へのアクセス」は90%で平等は達成できている。ただ、**所得格差と女性管理職や女性政治家の少なさが「経済」「政治参加」での点数を大きく下げた。**この2項目での不平等は長年指摘されていた。

男女平等達成率の高い国は、1位アイスランド2位フィンランド3位ノルウェー4位ニュージーランド5位スウェーデン。職場に女性が少ないことも問題視している。**コロナ禍で職場を失った多くは女性であり、女性蔑視が根強く残っているのかと思わざるを得ない部分**が表面化している。

☆4面で50年前から海外に何度も留学をし、女性の活躍を数多く見てきた原田敬美さんに執筆頂きました！

サラリーマン  
川柳

脱ハンコ 進めるために 判が要る



信頼と実績で皆様に愛されて35年！

生命保険・不動産の売却・買い取り すべてお任せください！

Qualifying &  
Life Member



株式会社  
オフィス **ASADA**

代表取締役 **麻田 春江**

住所：〒302-0015 茨城県取手市井野台1-7-28 E-mail : officeasada220@gmail.com  
TEL : 0297-72-2401 FAX:0297-72-6217 URL : https://officeasada.com



## II 渋沢栄一に学ぶ 時代の大転換期をどう乗り越えたか

### 渋沢栄一の人物とは



ひさしぶりにJRに乗って日経新聞を開いた。ふと車内の広告に目をやるとサッポロビールの美味しそうにビールを飲んでいる宣伝があった。帰りに買って帰ろうとみずほ銀行に寄った。いつもの年末は帝国ホテルに泊まって明治神宮に参拝していたのに今年には行かない。そだ聖路加国際病院に祖母のお見舞いにも行かないのだ……。こんな、どこにでもあるような日常のひとつだが驚くなかれ、ここに出てくる固有名詞すべての設立に関わった人物が渋沢栄一なのだ。

他にも東京海上火災保険、東急電鉄、東京証券取引所、キリンビール、など多くの企業の設立に関わった。社会活動にも熱心で養育院の院長を務めたほか、東京慈恵会、日本赤十字社などの設立にも携わった。商業教育にも力を入れ、一橋大学、東京経済大学の設立に協力したほか、女子の教育の必要性を考え伊藤博文、勝海舟らと女子教育奨励会を設立。日本女子大学、東京女子館の設立にも携わった。

渋沢は他の財閥創始者と異なる点と言えば、渋沢財閥を作らなかったこと。「私利を追わず公益を図る」との考えを生涯に亘って貫き通し、後継者にもこれを固く戒めた人である。

今、私たちは紛れもなく体験したことのない大転換期を生きている。  
従来の制度やルール、考え方がまったく通用しない  
「新しい時代」を迎えている。

ドイツの政治家ビスマルクは  
「愚者は経験に学び、  
賢者は歴史に学ぶ」  
という有名な言葉を残している。



「人生100年時代」渋沢が亡くなったのは1931年91才の時、大往生だった。今で言えば105才位だろう。農民から武士へ、26才で徳川慶喜の幕臣となった。30才で富岡製糸場設置主任。33才で第一国立銀行(現みずほ銀行)を設立。35才で頭取となる。この銀行は日本最古の銀行である。武士から役人にそして経済、実業の世界で商人として生きることを決めた渋沢は約500社とも言われる企業団体の設立に関わり日本の経済、ひいては資本主義の礎を築いていったのだ。69才の時、第一銀行以外のほとんどの役職を辞し、76才にはこの銀行の頭取も辞め実業界から引退する。

それで渋沢の生涯が終わると思ったら大間違い。60才を過ぎた頃から渋沢は民間外交に力を入れていた。経済を発展させるには、国レベルの外交のみならず民間レベルの外交が不可欠と考えた渋沢は、人生の最晩年に民間外交へと自ら情熱を傾けていった。

まさに「人生100年時代」を先取りするかのように自らの身分やキャリアを変えながら第二、第三の人生を精力的に歩んでいったのだ。私たちが真剣に向き合わなければならない「キャリア設計」そのものではないだろうか。

### 2021年NHK大河ドラマ「晴天を徹け」 2024年から新一万円札の顔として登場!

江戸から明治、大正、昭和と生きた渋沢。尊王攘夷の江戸末期から大政奉還。そして、激動の幕末。開国の衝撃から明治へと、文字通り「大転換期」の真っ只中を生き抜いた人物なのだ。このように渋沢の生涯を見ると、今という時代に渋沢栄一が求められるのは必然なのだろう。

求められている。  
「徳」が  
今こそビジネスに

現代経営学の発明者と称されるピーター・ドラッカーは渋沢について「率直にいうと私は経営の『社会的責任』について論じた歴史的な人物の中でかの偉大な明治を築いた偉大な人物の一人である渋沢栄一の右に出るものはいない。彼は世界の誰よりも早く経営の本質を『責任』にほかならないということを見抜いていた」と述べている。

多くの経営者、ビジネスパーソンが「東洋思想」をベースとしたビジネスマインド、企業経営、企業戦略を学んでいる。「今ビジネスで大事なことは？」と尋ねると「virtueが必要だ！」と口にしてはいる。「virtue」とは「徳」のこと。とりわけシリコンバレーのCEOたちは「virtueの大切さ」を強調している。

「徳」こそがビジネスの成否を分ける大きな要因となる。確かにその傾向はどんどん強まっている。渋沢の残した「論語と算盤」で「道徳とビジネス」の関係を書いている。一言で言うと論語とは「道徳」のこと。算盤とは「経済」あるいは「ビジネス」のこと。ビジネスは道徳や道徳によって成り立つもの。どちらも人間同士の関わり合いの中に存在する。「人間とはどういうものか」という原理、原則を理解することが最も大事な事なのだと言っている。

約500社もの設立に関わった渋沢は企業を立ち上げ経営していくにあたって大切な事は次の四つだと言っている。

(1)道理正しい仕事か (2)時運に適しているか

(3)己の分にふさわしいか (4)人の和を得ているか

ここでも真っ先に**人の道理**をビジネスにとって重要なものとして示している。

今はネットの全盛時代。世界中の人々が直接つながっている世の中です。

そんな時代に人として**道理に合わないことをして企業を持続させることなどできない。**

「商売」をするなら「**ものの道理**」を理解しよう。

論語(道理)を知らずして、**算盤(ビジネス)**はうまくいかない！

そういうことを渋沢は説いているのです。

「道理なくして 利益なし」



※道理とは：物事の正しい筋道。人として行うべき正しい道。筋が通っていること。光文社 田口佳史著「渋沢栄一に学ぶ」参考

### III 扶養の義務とは 「夫婦間では？」 「生活困難の親族との関係では？」

夫婦間では結婚すると発生する扶養義務がある！

結婚し婚姻届けを出すと発生する義務と言えば配偶者の扶養義務。  
配偶者とは「夫婦の一方から見た他方」夫から見た妻、妻から見た夫ということです。

婚姻届けは紙切れ一枚というが、されどその紙切れには…  
トイレットペーパー一枚とは全く違う責任の重いものです。

その責任の重さとは民法上の扶養義務と手続き上の扶養義務がある。



民法には「夫婦は同居し互いに協力し扶助しなければならない」と配偶者を扶養し、協力して生活する義務が定められています。これは生活保持義務と言います。その義務は配偶者が自分と同じ生活水準で生活するということです。

例えば… 婚姻後、妻が専業主婦になった場合

夫は「自分で稼いだお金は自分のもの」と言って生活費を出さない

というのは通用しないということになります。

夫婦になった以上家計においても協力し同じ生活水準で生活をしなければならないのです。



例えば… 別居した場合

何かしらの理由で別居中の場合にも、配偶者の扶養義務は発生します。

別居していても配偶者の生活水準を同じく保つ義務があります。

これは生活費に関するすべてということになります。

どちらか一方の生活が困窮していることは配偶者を扶養していないということになります。



生活困難の親族との関係では  
扶養義務はどこまであるのか？

民法上、親子だけではなく兄弟姉妹も相互に「扶養義務」を負っている。ただ、この民法上の扶養義務は

「生活扶助義務」と呼ばれており「相手が生活苦に陥った場合に

自己に相当の余裕がある場合のみ扶養する義務」であるというのが通説である。

よって、自分で生活を立てられない者が全く財産がない状態になった場合は、

兄弟姉妹がいたとしても最終的に生活保護を受ける人が多いのが現状である。

そのような時、生活保護開始前に市町村から兄弟姉妹に対して「扶養照会通知」というものが届くものの、

それが届くからと言って、本人の生活費を負担しなければならない訳ではない。

なお、生活保護法には市区町村が、民法上の扶養義務者に対して生活保護費を徴収する権限がある旨が

明記されている。しかし、この徴収権が発動される例は極めて少ない。

(市町村が他の兄弟が相当の資産を持っていることを把握した場合、発動される可能性は0ではない)

※「扶養照会通知」を出されるのを拒んで生活保護を受けない人がいることも事実である。

原田 敬美 (ハラダ ケイミ)

博士(工学)・技術士(建設)・一級建築士・前港区長

自己紹介(海外の体験)

半世紀前(自分の年齢に改めて衝撃!), 1969年から1970年、アメリカ、オハイオ州のウースター大学に交換留学しました。1971年、スウェーデン、ストックホルムのカール・クリスティアンソン建築事務所に研修留学しました。1974年から1976年、アメリカ、テキサス州ヒューストンのライス大学建築大学院にフルブライト留学(アメリカ政府招聘の留学)しました。(両親、恩師、大学、アメリカ政府に感謝)その後、現在まで国際会議や取材で海外を訪問しました。



50年前叫ばれた女子大生亡国論に傾倒したこともあった身で、海外で女性の社会参画を体験し、驚き、\* 懺悔(サンゲ)の気持ちです。今は自称、女性活躍の応援団長。体験したことの一部ですが、ご紹介し、次号で日本での課題指摘、提言をしたいと思います。

海外での衝撃

私は、1967年早稲田大学建築学科に入学しました。定員180名、その内女子学生は2名(1%)。それが当たり前とっていました。

ウースター大学は学生規模1300人程度、全寮制で、女子学生は4割でした。教室で女子学生に囲まれ、それまで女性と会話した経験がなくドギマギし、俺は女性にもてるのかなと勘違い?

ストックホルムに留学し、市バスや地下鉄の運転手に多くの女性がいたことに衝撃を受けました。ストックホルム工科大学では女子学生が6割いたのに驚きました。女子学生に「なぜこんなに女子学生がいるのか?」と今思うと愚かな質問をしました。

ライス大学建築大学院は、定員75名の寺子屋教育。女子学生は3割以上でした。ちなみにハーヴァード大学建築大学院は定員600名、うち、女子学生は5割近くでした。労働力の供給元に半分女子学生がいるから、労働市場に女性が半分いるのだと悟りました。

帰国後、同期の女子学生達に、海外の事例を紹介し、女性は働き続けるべきだと語ったら「原田さんは変人」と言われ、遠ざけられました。今でも変人扱いされているようですが、もしかして、彼女達は、今頃原田説は正しかったと思ってきているか? 当時、女性は「クリスマスケーキ」と例えられ、大卒後就職し結婚資金を貯め25歳になる前に結婚し主婦になるのが当たり前の時代でした。

2014年から2016年、毎年トルコのコジャエリ大学(トルコはほとんど国立大学)に\* 招聘(ショウヘイ)されました。驚き! 学長、副学長、多くの学部長が女性。5万人の学生のうち半数が女性。法学部長も女性。知人の弁護士に聞いたら、日本の大学で女性法学部長はいないとのこと。

私が留学生活を送ったアメリカ、テキサス州ヒューストン市、人口200万人の全米4位の大都市。市役所に22局あり、うち10人の女性局長、しかも、財政局長、建設局長、IT局長、都市計画局長などが女性局長。市議会定数は16名、内半数の8名が女性議員。

OECD(経済協力開発機構)のデータで、女性研究者の比率は日本15%で最下位。トルコは37%で9位、スウェーデンやアメリカより高いです。世界経済フォーラムの調査で女性の平等では日本は120位。

女性の皆さん、「社会革命」のため立ち上がれ! ムシロ旗持って! (ちょっと古いか) そうかも!! (アサダより)

\* 懺悔とは自分の人前での行いがわるい事だったと気づきそれを悔いて(神仏)に告白すること

\* 招聘とは礼儀を尽くして丁寧に人を招くこと